ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き　改善　ほぼ横ばい　悪化

中国

中国は、悪化。製造業では、中東情勢の悪化に伴う原材料価格の高騰を価格転嫁で吸収できず、食料品製造業を中心に売上・採算が悪化した。建設業では、人手不足の中、人件費が高騰し、売上・採算が悪化した。一般工事業の事業者からは、設備投資や公共工事の需要は堅調に推移する一方で、資材価格の上昇や調達困難化の影響で採算が悪化しており、今後の見通しに懸念がある、という声が聞かれた。

四国

四国は、悪化。建設業では、資材価格や人件費の増加に伴う工事単価上昇で新規受注が減少し、売上・採算が悪化した。小売業では、低価格商品への切替やまとめ買いの増加など、節約志向の高まりに伴う購買行動の変化により、スーパーを中心に売上が悪化した。愛媛県の酒類・食料品販売店からは、例年は大型連休に学生の陸上大会が開催されるが、少子化の影響で年々規模が縮小し、売上も減少している、という声が聞かれた。

九州

九州は、悪化。製造業では、ナフサ価格高騰の影響で、金属製品製造業を中心に採算が悪化した。サービス業では、天候不順の影響で消費者の外出が減り、美容室などで売上・採算が悪化した。旅館業の事業者からは、インバウンド客が利用客の半数以上を占めるが、5月から国際線の燃油サーチャージが引き上げられたため、利用客数の減少が懸念される、という声が聞かれた。

	2025年	2025年	2026年					先行き見通し
	5月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6～8月
全　国	▲ 18.0	▲ 18.0	▲ 17.9	▲ 16.8	▲ 20.0	▲ 21.9	▲ 24.3	▲ 27.3
北海道	▲ 9.8	▲ 10.7	▲ 7.7	▲ 14.2	▲ 11.4	▲ 15.3	▲ 17.4	▲ 23.4
東　北	▲ 28.0	▲ 35.7	▲ 30.9	▲ 30.0	▲ 41.4	▲ 32.1	▲ 41.0	▲ 34.6
北陸信越	▲ 24.6	▲ 21.5	▲ 27.9	▲ 23.5	▲ 27.3	▲ 29.6	▲ 27.5	▲ 29.1
関　東	▲ 13.9	▲ 16.2	▲ 14.4	▲ 12.4	▲ 13.4	▲ 15.8	▲ 17.7	▲ 24.2
東　海	▲ 20.8	▲ 19.6	▲ 17.6	▲ 16.0	▲ 20.6	▲ 27.0	▲ 24.1	▲ 28.5
関　西	▲ 12.9	▲ 15.8	▲ 13.7	▲ 11.8	▲ 15.6	▲ 16.5	▲ 16.9	▲ 24.1
中　国	▲ 16.7	▲ 13.4	▲ 13.3	▲ 10.9	▲ 15.6	▲ 17.1	▲ 22.9	▲ 26.0
四　国	▲ 28.1	▲ 17.5	▲ 25.0	▲ 25.2	▲ 25.4	▲ 26.8	▲ 33.1	▲ 26.6
九　州	▲ 17.3	▲ 13.4	▲ 18.9	▲ 15.9	▲ 21.2	▲ 24.6	▲ 29.2	▲ 32.4

※　…1.0ポイント以上改善　…1.0ポイント以上悪化

